

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年1月29日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 4週 平成31年1月21日 ~ 平成31年1月27日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	293	118	124	83	324	178	321	386	468	2,295	7	23	84	90	112	146	173	157	141	137	124	371	111	86	147	170	81	58	58	19

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~							
RSウイルス感染症	3						2	8	5	18	2	4	9		1	2															
咽頭結膜熱							1		1	2					1			1													
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	1	1		7	2	5	7	16	47			1		3	4	8	9	2	7	6	6							1		
感染性胃腸炎	16	11	7	5	26	6	23	44	14	152		8	19	14	12	11	16	10	10	7	3	16	8							18	
水痘	2				4					6	1			1			2		1		1										
手足口病	4	1								5			1	3	1																
伝染性紅斑	4	1	4		5					14		1	1		1	3	3		1	1	2	1									
突発性発疹	1		2			1				4			4																		
ヘルパンギーナ								1		1					1																
流行性耳下腺炎										0																					

インフルエンザの定点あたり患者数は47.8人となり、増加割合は小さくなりましたが、警報レベル(30人以上)が続いています(先週:46.5人)。本市では、学校園や福祉施設等を対象に感染症や食中毒が疑われる者が1週間に2名以上発生した場合に所定の様式での報告をお願いしています(神戸モデル連絡票)。インフルエンザ患者発生が少ない時点から報告をいただいております。保健所や所管課が早期に探知し、必要に応じ、助言等を行うことで感染拡大防止に努めています。また、免疫力の弱い高齢者等の利用する施設では、施設内にインフルエンザウイルスが持ち込まれないようにすることが重要です。厚生労働省が公表している「インフルエンザ施設内感染予防の手引き」等を参考に対策をとりましょう。

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
1973	6	0

[神戸モデルについて](#) [神戸市HP](#)

[インフルエンザ施設内感染予防の手引き 厚労省](#)

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎									1	1																			1	
流行性角結膜炎					1	1				2																			2	

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○アデノウイルス感染症1例:1歳 男
○ノロウイルス感染症6例:0歳9か月 女、1歳 女、2歳 男女、5歳 女
○水痘7歳 女:ワクチン接種歴あり(1回)
北 区○マイコプラズマ感染症1例:4歳 男

【基幹定点からの報告】

細菌性髄膜炎1例:82歳 女
インフルエンザによる入院37例:0~4歳 6例、5~9歳 4例、10代 2例、40代 3例、60代 3例、70代 6例、80代 13例

【全国の感染症の状況】

○麻しん

三重県津市内において、昨年末にミロクコミュニティ救世神教が自施設で開催した研修会の参加者から、1名の麻しん患者が発生し、その後の確認により、同研修会の参加者等から三重県内で44名(1~4歳 1名、10代 27名、20代 10名、30代 4名、40代 2名)の麻しん患者が発生しています(1月27日時点)。なお、患者のワクチン接種歴の内訳は、ワクチン接種歴なしが25名、あり(1回)が8名、あり(2回)が4名、不明が7名です。神戸市では、上記の関連も含め、麻しん患者の発生はありません。

麻しんは約10~12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

○風しん

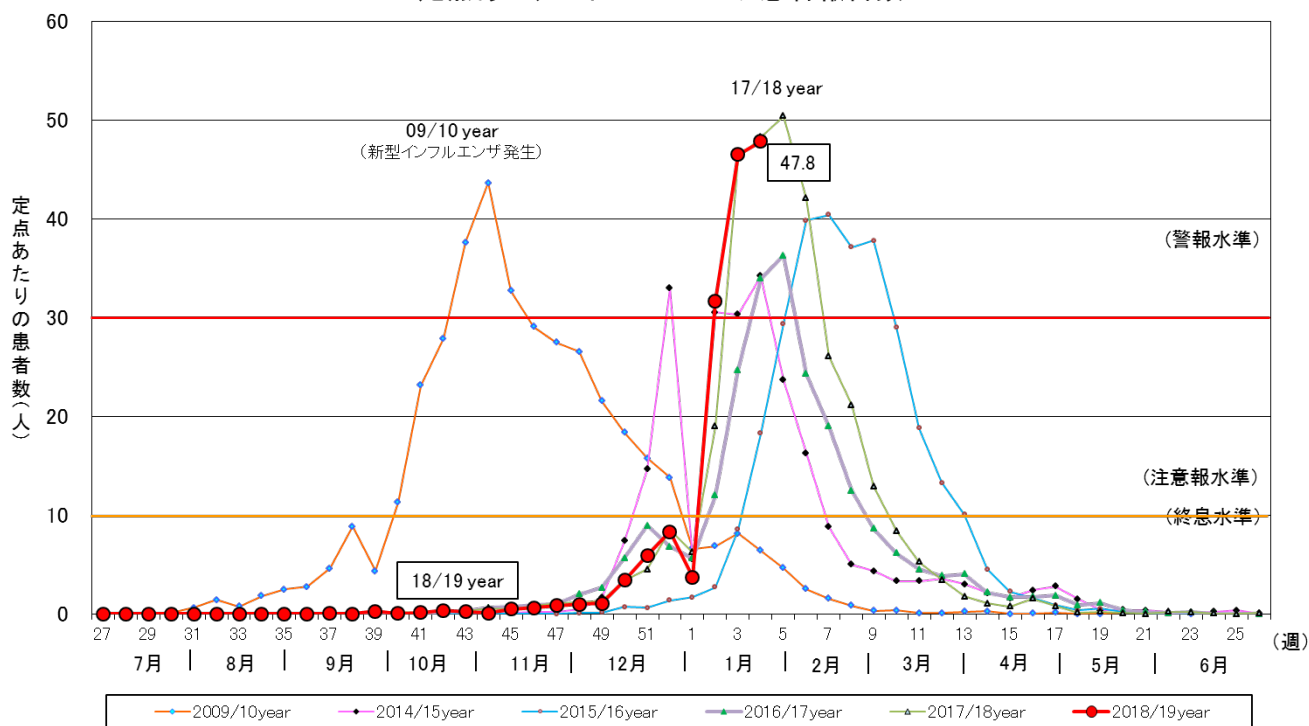
全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日~10月7日)から平成31年1月27日までに兵庫県では、50例、神戸市では、9例(0~4歳 1例、10代 1例、20代 1例、40代 3例、50代 2例、70代 1例)の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [\[検索\]](#)

[「IL」情報センター](#) ホームページを開設しています。詳細は[こちらをクリック](#)

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

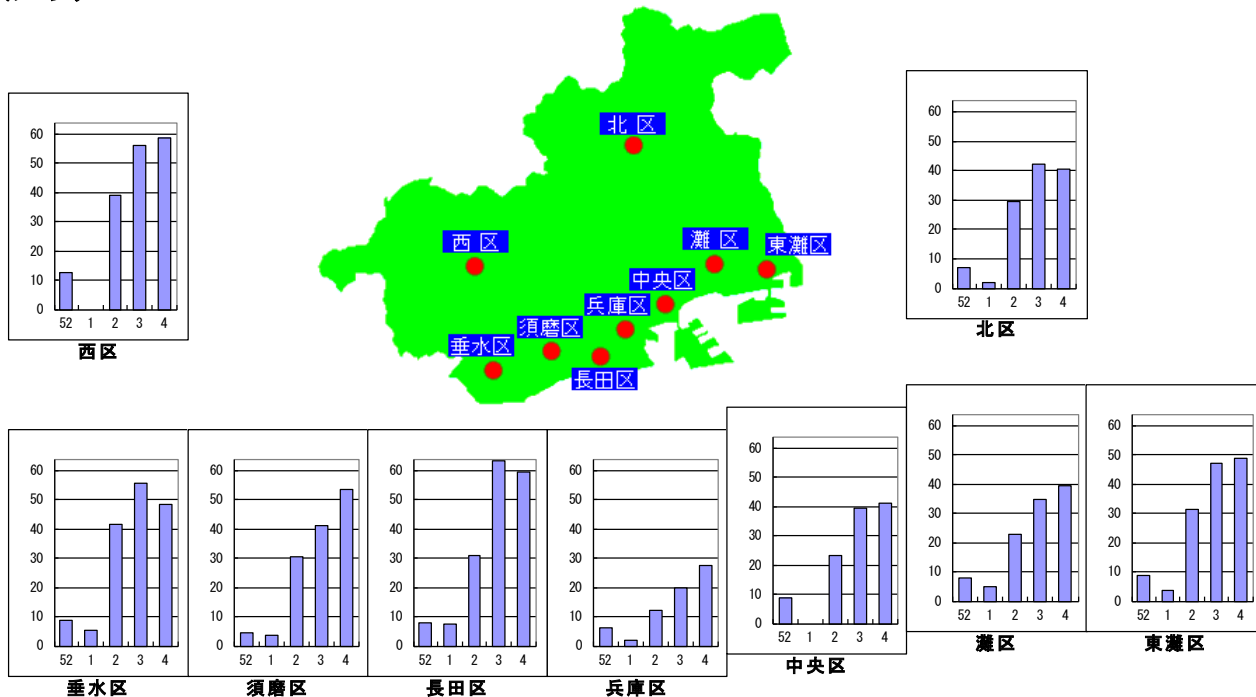


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 52 週 平成30年12月24日

~ 第 4 週 平成31年1月27日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。